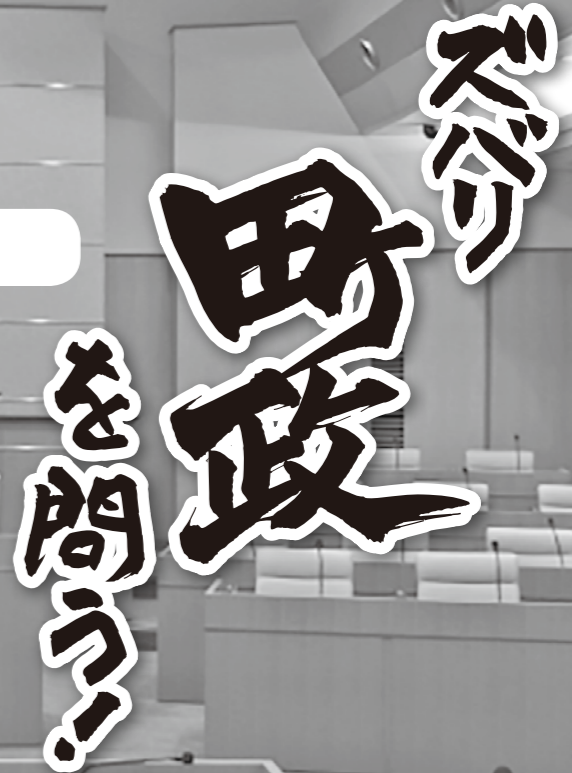


あなたが、気になる「質問」はありますか？

質問議員6名 質問9項目



皆さんの「へんじ」にかかわることを、議員が質問をしました。

子育て支援・教育	産業・観光・まちの魅力	安心・安全	公共施設管理・整備	その他の町行政
P11 乳児健診の体制強化を 熊野筆の将来は大丈夫か 諏訪本議員	P12 災害後の状況と今後の計画は 警戒区域の避難路は 立花議員	P13 防災・減災体制の強化を 熊野交番の建て替え計画は 沖田議員	P14 豪雨災害を受けて今後の河川管理は 東部地域防災センター建設計画の進捗状況は 民法議員	P15 豪雨災害支援金の使い道は 立花議員

※ 紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。なお、熊野町議会のホームページ (<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>) から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

子育て支援 教育

Q 乳児健診の体制強化を



沖田ゆかり議員

A <子育て・健康推進課長>

医師や保健師、看護師、助産師との情報共有に努める。

【Q1】 乳幼児全戸訪問の現状と課題について伺う。

【A1】 生後4カ月までの乳児がいる全ての家庭を対象に、保健師が自宅を訪問し、乳児と母親の心身の健康状態や養育環境の把握、母乳・ミルク等の栄養相談、育児相談、要支援家庭に対する提供サービスの検討等を行っている。訪問率は96%。

【Q2】 乳児健診の現状と課題は。

【A2】 疾病及び発達等の心身障害やその他の異常の早期発見につなげるのとともに、産婦の出産後の体調把握や、育児不安を軽減するための相談等を行っている。受診率は90%。

未受診者への一層の働きかけが必要である。



【Q3】 乳幼児全戸訪問で先天性疾患の疑いがあると判断された乳児の情報は、乳児健診の際に医師に提供されているのか。

【A3】 健診前に伝え、重点的に診ていただいている。

【Q4】 疾患の疑いがあると判断された乳児が健診時に見過ごされ手術を余儀なくされているが。

【A4】 今後、更に状態が正しく伝わるように努力していく。

産業 観光 まちの魅力

Q 熊野筆の将来は大丈夫か



諏訪本光議員

A <副町長>

後継者育成やイベント等の事業、筆文化の継承や情報発信等の支援を行っている。

【Q1】 平成29年度に熊野町商工会等が実施した国内筆市場の需要動向調査結果に対する町の受け止めは。

【A1】 最終報告によると書筆と画筆の需要の拡大は見込めない。化粧筆は生産額も順調に伸びている。となつている。概括的な傾向について、町の認識と共通している。今後、対応すべき行政課題については、積極的に取り組む。

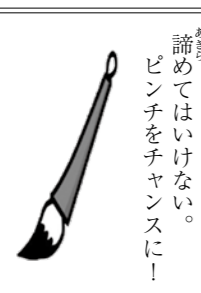
【Q2】 筆産業の振興に関して、町の発言トーンが下がっている。新たな取り組みも見えていない。

【A2】 対応すべき行政課題は何か。何をどのように取り組むのか。

【Q3】 なかなか難しい問題であるが、筆事業所、筆組合、商工会の方とも協議、検討して進めたい。

【A3】 調査結果で、生産数は、この30年間に、書筆は5分の1に、画筆は10分の1に減少している。関係者の努力により、生産額は2分の1程度に抑えている。この調査結果の活用を検討は。

【A3】 後退的な面もあるが、調査結果など、データに基づく関係者との協議を今後も進める。



諦めてはいけない。ピンチをチャンスに！